

平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター 准教授
氏名 Name	大和祐子
専門分野 Academic Field	日本語教育学

平成 29 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	(1) 非漢字圏学習者の漢字語彙学習の成功に影響する要因の解明 (2) 韓国語の助詞連続構成の認識と許容について				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>(1) 29年度は、28年度3月までに日本国内で実施した実験データの整理と分析を行う。具体的には、語彙知識が豊富であると判断された非漢字圏学習者と同程度の語彙知識を持つ漢字圏学習者では、漢字の文字正誤判断と漢字表記語彙性判断における処理速度と正確さ(誤答率)には差がみられるか、という点を明らかにする。また、非漢字圏学習者の漢字処理に対する語彙知識の影響も明らかにする。さらに、これらの結果と非漢字圏学習者の使用する漢字学習ストラテジーとの関連性についても検討する。これとは別に、29年度以降実施する実験でのグループ分けを目的として、日本語学習者の漢字書き取り・読み取り能力を測るテストを開発する。さらに、そのテストを韓国・ソウルで実施し、テストの有効性を検証する。</p> <p>(2) 韓国語の助詞連続構成は様々確認されているが、「에를」「에가」については、その許容にゆれがある。この許容度について反応時間パラダイムを用いて調べる実験を28年度夏に韓国・ソウルで実施した。29年度は、その研究成果の一部を国際学会(フィンランドで行われる ICKL20)で報告し、研究論文にまとめる。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	日本語教育学	外国語教育学	言語学 (心理言語学)	日本語学	教育心理学
キーワード Keywords*2	日本語教育	漢字語彙習得	メンタルレキシコン	言語能力評価	テスト分析